

地域県土警察常任委員会資料

(令和6年9月17日)

ページ

- 「ミラ・クル・とっとり元気フェス」の開催結果について
【協働参画課】・・・2
- とっとり県民の日(9月12日)にかかる各種取組の実施について
【協働参画課】・・・3
- 鳥取砂丘コナン空港第2期コンセッションの実施方針に関する説明会の開催結果について
【交通政策課】・・・5
- 米子台北直行便の就航について
【国際観光課】・・・6

輝く鳥取創造本部

「ミラ・クル・とっとり元気フェス」の開催結果について

令和6年9月17日
協働参画課

「ミラ・クル・とっとり運動」に取り組んでいる団体の活動を県民に広く伝え、地域づくり活動の裾野を広げることなどを目的に「ミラ・クル・とっとり元気フェス」を開催しました。

なお、当該イベントはSDGs普及啓発・実践強化月間「とっとりSDGsシーズン2024」のオープニングイベントとしても位置付け、持続可能な地域づくりに向けて様々な体験や学びを提供するプログラムを実施しました。

1 ミラ・クル・とっとり元気フェス 開催概要

- (1) 日時 令和6年9月8日（日）午前10時から午後4時まで
- (2) 会場 エスパック未来中心 アトリウム、ふれあい広場ほか
- (3) 主催 とっとり元気フェス実行委員会
- (4) テーマ 世代を超越！出会い・学び・可能性あふれる鳥取づくり
- (5) 入場者数 約1,200名
- (6) 内容



ア 中部を中心に活動する団体によるステージ

ダンス（GaB）、朗読（ボランティア朗読バラエティ花みずき）、和太鼓（打吹童子ばやし）、オペレッタ（鳥取短期大学幼児教育保育学科）、フラダンス（Hui Hula Linolino）

イ 県外出身者によるミニトーク「県外出身者からみた鳥取県～よりよい鳥取県の未来のために～」 [登壇者]伊藤 博文氏（三朝町地域おこし協力隊）、清部 直樹氏（フリーランス）

ウ とっとりSDGsワークショップ

エ 地域づくり団体、とっとりSDGsネットワーク構成員及びとっとりSDGsパートナー等 20団体による体験、展示、販売のブース出展 [主なブース出展]

工作ワークショップ（るりゆーる、県立美術館等）、SDGsを学ぶカードゲーム体験（TORICEF）、指談体験（指談の会ゆびさき）、県産食材の加工品販売（良菜会）、駄菓子販売（ばばのぼプロジェクト）

オ とっとり県民の日・SDGsにちなんだクイズラリー

カ ねんりんピックはばたけ鳥取2024、県立美術館、大阪・関西万博のPR

【来場者の声】

- ・ブース出展やステージで地域づくり活動を身近に感じられた。
- ・工作体験やクイズラリーなど子どもが喜ぶ内容もあり楽しめた。

【参加団体の声】

- ・多くの方に団体の活動内容を知ってもらえることができた。

2 「とっとりSDGsシーズン2024」の実施概要（令和6年9月～11月）

官民連携組織「とっとりSDGsネットワーク」の会議（7/16開催）において、以下のとおり実施概要を決定しました。

	項目	実施場所	内容	実施期間
1	オープニングイベント	エスパック未来中心（倉吉市）	（「ミラ・クル・とっとり元気フェス」と同時開催）	9/8
2	関連イベント	県内各地	①とっとりSDGs 川柳コンテストの開催 ※初開催 ②とっとりSDGs パートナー登録企業・団体が行うイベントの開催	①9/8～10/4 ②期間中随時
3	クロージングイベント	とりぎん文化会館（鳥取市）	①とっとりSDGs 子ども伝道師任命式及び事例発表会 ②とっとりSDGs 川柳コンテスト表彰式 等	11/4
4	普及啓発	①鳥取市内 ②倉吉市内 ③県内各地	①商店街へのSDGsフラッグ掲出 鳥取市立遷喬小5、6年生が参加し、鳥取商工会議所会員とともに若桜街道商店街にSDGsの各ゴールを表示したフラッグを掲出 ②倉吉市昭和町交差点付近にディスプレイ広告を掲出 ③とっとりSDGs 自治体ネットワークとして行う県内19市町村での普及啓発リレー（公共施設での展示、広報誌への掲載等）	①9/4～11/29 ②9/1～11/30 ③期間中随時

とっとり県民の日（9月12日）にかかる各種取組の実施について

令和6年9月17日
協働参画課

9月12日の「とっとり県民の日」に合わせて、県民が鳥取県について学び、ふるさとに愛着と誇りを持っていただくため、民間事業者・市町村等と連携した各種取組を実施しましたので、概要を報告します。

1 ミラ・クル・とっとり元気フェス

とっとり県民の日とミラ・クル・とっとり運動とのコラボイベントとして実施

- ・期日 9月8日（日） 午前10時から午後4時まで
- ・場所 エースパック未来中心 ※詳細は別資料で報告

2 イオンモール鳥取北・日吉津での啓発イベント

- ・期日 9月6日（金）～9月16日（月・祝）
- ・内容

イオン鳥取北	9/13（金）～16（月・祝）	・県内の特産品や民工芸品の販売
	9/12（木）～16（月・祝）	・パネル展（鳥取県の歴史や魅力等）
イオン日吉津	9/6（金）～12（木）	・パネル展（鳥取県の歴史や魅力等） ・ステージイベント（9/7（土））



<県民の日フェア>



<ステージイベント>



<パネル展>

3 県内スーパーマーケットと連携した「とっとり県民の日フェア」の開催

- ・協力事業者：11社 61店舗（イオン、エスマート、サンマート、スーパーマルワ、JA鳥取西部ふれあい村アスパル、JA鳥取中部直売所、新あじそう、天満屋ハピーズ郡家店、東宝ストア、フーズマーケットホック、マルイ）
- ・実施内容：知事メッセージによる県民の日フェア開催案内をチラシに掲載、県産品の販売促進、県民の日のぼり掲出等（9月12日前後に実施） ※具体的な実施内容は、店舗により異なります。

4 県立公文書館での企画展「鳥取県ができるまで」

- ・期日 9月3日（火）～9月19日（木）
- ・内容 鳥取県の誕生（藩から県へ）から鳥根県への合併、鳥取県再設置前後の出来事を紹介

5 県立図書館での特別展示「平安時代の物語文学—読み継がれた源氏物語と池田亀鑑—」

- ・期日 8月24日（土）～9月29日（日）
- ・内容 所蔵する江戸時代の源氏物語注釈本『湖月抄』などの平安文学資料展示と併せて源氏物語研究の第一人者である池田亀鑑（いけだきかん）（現日南町出身）の文学研究の実績を紹介

6 県内学校等と連携した取組

(1) 学校での「とっとり県民の日」一斉取組の実施

小中高校・義務教育学校・特別支援学校の児童・生徒が、ふるさと鳥取県について考える機会を設けた。
(県民の日リーフレット配布の他、小冊子「鳥取県ができるまで」を小学6年生に配布)

<取組(例)>

県民の日リーフレット等を活用し、ホームルーム等の時間を利用して鳥取県誕生の経緯や県民の日の趣旨説明、鳥取県クイズなどが行われた。

(2) 学校給食での「とっとり県民の日」地産地消メニューの提供

学校給食を提供する県内の小中学校、義務教育学校、特別支援学校において、9月12日前後に、県特産の二十世紀梨や星空舞、境港サーモンなどの地域色を生かした地産地消メニューを提供した。

<取組(例)>

倉吉市内の小中学校で提供された学校給食：とびうおフライ、らっきょうのサラダ、倉吉野菜カレー、二十世紀梨ゼリーなど

(3) ふるさと「とっとり」講師の派遣

児童・県民等に鳥取県の歴史や地域の魅力を伝え、ふるさとへの理解を高めるため、専門的な知識を有する講師を学校等に派遣した。

(R6年9月末までの実施回数(予定を含む):計13回(過去の9月末までの実績 R4:12回、R5:18回))

<取組(例)>

期日	場所	学年	講師	内容
9月12日	鳥取商業高校	全学年	統計課職員	統計データからみえる鳥取県 ・指標や統計データから見える鳥取県の産業・社会の現状や統計の意義についての授業

7 県内施設の無料開放・利用料割引 ※9/12またはその前後に実施(実施日は施設により異なります)

・無料開放施設 計23施設(県立13、市町村立10)

アイエム電子鳥取砂丘こどもの国、鳥取産業体育館、鳥取屋内プール、県立博物館、ヤマタスポーツパーク、エースパックなしっこ館、倉吉体育文化会館、東山水泳場、県立武道館、米子産業体育館、みなとさかい交流館(会議室)、東郷湖羽合臨海公園(中国庭園燕趙園を除く)、とっとり花回廊、鳥取市歴史博物館(やまびこ館)、鳥取市河原町お城山展望台、鳥取市流しびなの館、因幡万葉歴史館、鳥取市武道館、鳥取市弓道場、鳥取市千代テニス場、鳥取市城北テニス場、童謡館・鳥取世界おもちゃ館(わらべ館)、米子市皆生市民プール

8 県政広報媒体での広報展開

地元新聞広告(9月7日:半5段)、協働参画課ホームページで広く県民に広報を行った。

《参考1:「とっとり県民の日」》

明治14年に現在の鳥取県が誕生した日にちなみ、平成10年に9月12日を条例で「とっとり県民の日」として制定。

「とっとり県民の日」は、「県民が、ふるさとについての理解と関心を深めるとともに、ふるさとを愛する心を育て、自信と誇りの持てる鳥取県を力を合わせて築きあげることを期する日」であり、関連イベントの実施、施設の無料開放と入場料割引、学校での県民の日給食などを行っている。

《参考2:鳥取県の歴史》

- ・明治4年(1871年) 7月14日 廃藩置県により鳥取藩が鳥取県になった。
- ・明治9年(1876年) 8月21日 鳥取県が廃止されて島根県に併合された。
- ・明治14年(1881年) 9月12日 鳥取県再置運動が実を結び、再び鳥取県が設置された。

鳥取砂丘コナン空港第2期コンセッションの実施方針に関する説明会の開催結果について

令和6年9月17日

交通政策課

鳥取砂丘コナン空港の第2期コンセッション（以下「第2期事業」）では、「鳥取県営鳥取空港の設置及び管理に関する条例」に基づき、選定事業者を公募の方法によって選定することを予定しています。

このたび、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（PFI法）第5条第1項及び第17条の規定に基づき「第2期鳥取県営鳥取空港特定運営事業等実施方針」（以下「実施方針」）を策定し、同法第5条第3項の規定に基づき令和6年8月1日付けで公表したことに伴い、令和6年8月28日に実施方針に関する説明会を開催しましたので、その開催結果について報告します。

1 実施方針に関する説明会の開催結果

(1) 開催日時：令和6年8月28日（水）午後2時から4時まで

(2) 開催方法：ハイブリッド方式（会場及びオンラインでの同時開催）

なお、当該説明会の録画映像については、本県ホームページにて公開している。

URL： <https://www.pref.tottori.lg.jp/item/1364481.htm#itemid1364481> 内

(3) 開催概要：① 開会の挨拶（輝く鳥取創造本部中山間・地域振興局長）

② 実施方針に関する説明（同部同局 交通政策課 空港振興室長）

- ・鳥取空港の概要、鳥取県及び現運営権者（鳥取空港ビル(株)）が実施している事業、実施方針の概要及び今後のスケジュールについて説明した。

- ・説明会の前週末から、説明会資料を本県ホームページにて公開している。

URL： <https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1364481/240828setsumeikai.pdf>

③ 質疑応答

- ・実施方針に関して、参加者からは運営交付金（除雪支援費）の仕組み、単体企業又は代表企業に求められる要件に関する質問が寄せられた。

- ・その他、鳥取空港の滑走路長や運用時間に関する質問も寄せられた。

- ・説明会終了後、参加者から「詳細かつ丁寧な説明だったため、よく理解できた」というコメントをいただいた。

(4) 参加者数：会場参加者及びオンライン参加者をあわせて、31社（県内事業者11社、県外事業者18社及び2自治体）、合計90名程度が参加した。

2 第2期事業開始までのスケジュール（予定）

年度	主な内容
令和6年度	● 特定事業の選定、募集要項等の公表（2月頃）
令和7年度	● 優先交渉権者の選定・公表、基本協定の締結、SPC設立（10月頃） ● 運営権設定及び債務負担行為に係る議会への附議（2月頃）
令和8年度	● 実施契約の締結・公表（4月頃）、業務引継期間（約1年間）
令和9年度	● 第2期事業開始（4月～）

米子台北直行便の就航について

令和6年9月17日
国際観光課

米子と台北を結ぶ直行便就航に向けた動きがありましたので、次のとおり報告します。

1 平井知事によるタイガーエア台湾へのトッププロモーション

平井知事が台湾にあるタイガーエア台湾本社を訪問し、同社幹部に対して米子台北便の実現に向けたトッププロモーションを行いました。

これに対し、タイガーエア台湾からは、来年1月中旬を目途に週2便での台北米子間直行便就航を実現したい旨の発言がありました。

- (1) 日時：8月29日（木）午後3時30分から4時15分まで ※現地時間
- (2) 場所：タイガーエア台湾本社（台北市内）
- (3) 出席者：タイガーエア台湾 陳漢銘（チェン・ハンミン） 董事長
許致遠（シュ・ツーウエン） 商務長ほか

(4) 概要

- ・平井知事から陳董事長に、来年大阪関西万博で台湾からの来日客が増えることに先立って、年明け以降の台湾との直行便就航を要請した。また、台湾最大の旅行博への出展や度重ねてのチャーター便等により鳥取県の知名度は上がってきており、就航に向けてのグランドハンドリングをはじめ環境づくりを進めていく決意を述べ、台湾での鳥取県の積極的なプロモーションや来年5月の日台観光サミット開催などをアピールした。
- ・陳董事長は、「鳥取県は魅力的な食や自然、文化にあふれ、路線就航についてタイガーエア台湾としても自信を持っており、来年1月中旬を目途として火・金週2便を軸に台北米子間直行便の継続運航に向け、当面冬ダイヤでの就航を実現したい。更なる継続的な運航を含め、台湾旅行会社の協力や鳥取の魅力PRなど、鳥取県からの支援をお願いしたい。」と正式な回答をいただいた。
- ・これに対して平井知事からは、「大変力強いご発言をいただいた。タイガーエア台湾や地元旅行社・メディアと連携して積極的に台湾の情報を発信するとともに、冬ダイヤでの就航に向け準備を急ぎたい。」と応えた。



陳董事長との記念写真の様子

2 鳥取—台北国際チャーター便の就航

昨秋、今春に続きチャイナエアラインが鳥取砂丘コナン空港にチャーター便を運航する予定です。

【チャーター便概要】

- (1) 運航日：11月11日（月）、15日（金）、19日（火）、23日（土）、27日（水）、12月1日（日）
- (2) 運航区間：台湾桃園国際空港—鳥取砂丘コナン空港
- (3) 航空会社・機材：チャイナエアライン（中華航空）B737-800（158人乗り）
※全てインバウンドのお客様のみ
- (4) 主催旅行会社：鳳凰旅行社
- (5) 県内の主な立寄観光地：鳥取砂丘、砂の美術館、白壁土蔵群、二十世紀梨記念館、水木しげるロード、とっとり花回廊、三朝温泉、皆生温泉 など

3 国際航空路線・貨客船利活用促進緊急プロジェクトチーム会議の開催

香港便の定期便就航、今後の台湾便の路線就航をはじめ、米子ソウル便や日韓定期貨客船就航など、「空の道」「海の道」の相次ぐ好機をとらえ、文化交流、経済交流、教育交流の活発化等利活用促進対策を推進するため、関係部局による緊急プロジェクトチームを立ち上げました。

- (1) 日 時：9月11日（水）午後1時から1時30分まで
- (2) メンバー：輝く鳥取創造本部（国際観光課、観光戦略課、交流推進課、まんが王国官房、交通政策課）
地域社会振興部（スポーツ課）、商工労働部（通商物流課）
農林水産部（販路拡大・輸出促進課、食パラダイス推進課）、教育委員会